



前期の○と× その3

▼森一貴

○得意な教科が伸びていることは非常にうれしい。

×できる教科とできない教科の差が広がっている。やはり嫌いな教科もやらなければならないが、どうもやる気がおきない。そしてまたやらないという状態から抜け出せない。やはりこの流れから抜け出したい。

▼眠りの森のぞうさん

○数学を昨年よりがんばった（気がする）

×病んでいた。YouTubeをあさりすぎた。勉強しなすぎた。足を怪我しすぎた。

▼城戸

○部活と勉強がある程度両立できた。

×夏に太った。眠気におそわれまくった。

▼まこりんの後ろの人♡

○世界史頑張れた。自転車を極められた。部活を楽しめた。友だちができた。

×化学と数学。お金を使いすぎた。

▼田村

○なし。あえて言うなれば自分の×がいかに多いかを自覚できたこと。そしてある意味甘美な墮落に身を任せなくなったこと。

×底知れない怠惰。普段焦らないこと。焦ると果てしなく焦り続けること。受験までの道筋がどうしても見えないこと。

▼よしぎき2号

○前期中間テストは頑張れた。

×なんでも全力でやるという基本姿勢が少しくずれた。後期はがんばろう。

▼おひるね

○合唱祭がんばった。

×いろいろなことが中途半端になってしまっ

た。予習をやらなすぎた。

▼イヌとねこ

○賞はとれなかったが新しい友だちもできたし、イイクラスで楽しかった。

×進路が決まらない。

＊

○では、さすが「動」の前期だけあって、行事のことや部活のことを話題にした人が多い。残念ながら三大行事で賞を取ることはできなかったが、どれももう一步という感じだったから、3年生になって、部活からクラス活動へ重心が移せる人が増えると、さらに力が発揮できるようになってイイ結果がついてくるだろう。（2年生の時に、部活や委員・チーフ会が忙しくて抜ける人が多かったクラスほど、3年生になってから本来の力を発揮できるようになるのである。）

一方、×の方は、勉強あるいはそれに伴う時間の使い方を話題にした人がほとんどである。前の通信にも書いたように、「反省上手」になっても仕方ないのだから、ぜひ自分が感じている×を、実際の行動や生活の場面で改善するように努力してほしい。

3年生の前期は、やはり行事で忙しくなるのだから、この2年生の後期のうちに、上手な時間の使い方を習慣化することが大切だ。基本は規則正しい生活。起きる時間、勉強の時間などを決めて、計画的かつ継続的に実行できるようにしよう。

3年生の生活が「時間との戦い」であることは簡単に想像がつくはずだ。その戦いに向けての準備期間として、ぜひこの後期を位置づけてほしいものである。